

令和4年度 泥亀地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当地域は人々が多く行きかう駅前の商店街や住宅地、大規模マンション等があり、多種多様な世代、世帯構成が共存しています。また、歴史的・文化的にも由緒ある場所です。3つの連合町内会・地区社会福祉協議会があり活動も活発ですが、コロナ禍での活動継続や中心的役割を担う後継者育成が課題となっています。また、閉じこもりの方、認知症の方、ヤングケアラー、ダブルケアラーなど支援を必要とする方の早期発見も課題です。それらを解決していくには、担当エリアの各地域の連携機関や関連団体と情報共有できる関係構築が重要であり、積極的に向向いてネットワークを大切にしていきます。そして、区域計画・地区別計画の推進に向け、地域支援チームの一員として地域で生まれるインフォーマルサービスや介護予防への取組等を支援・周知していきます。これからも、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域の特性にあわせた地域福祉活動を行います。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域の高齢の方対象に、認知症の予防に特化した様々な講座を開催する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	エリア内にできた新設の福祉施設の協力を仰ぎ、地域住民の身近な通いの場づくりを実施します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域課題を話し合う場としての「つながりの輪 この指と～まれ」にて地域の課題として上がった見守りホルダーの取り組みを所内5職種と地域と協働ですべての担当地区で実施します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民への出前講座や認知症サポーター養成講座を多世代にむけて開催していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「体験！男性アレコレ講座」から発足した講座開催のグループが、コロナ禍においても自主的に興味ある活動に取り組み、学んでいけるように支援していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度新たに取組んだ2つの事業展開について、認知症予防に特化した講座は、参加者のニーズに合わせてケアプラザ職員の持っている知識や特技も活かした事業が実施できた。地域支援の一環として福祉施設との連携を図り、地域住民が通いやすい場づくりについて、意見交換を交わしあった。その結果協力が得られ、実際にコミュニティールームの開放につながり、事業が実施することができた。またエリア内には多くの福祉医療施設があり、ケアプラザ職員が今後の連携に向けてネットワーク構築に向け動き始めている。見守りホルダーについては、担当地区である3地区目での運用が始まっている。次年度以降に包括圏域が変わる中でも、続けられるように、移行先であるケアプラザとも連携を図ることができた。地域に向けたアウトリーチについては、活動をしている団体だけではなく、休止している団体とも活動再開に向けて、支援者同士で意見交換が行えている。

区からのコメント

5職種を超えたケアプラザ内の情報共有、連携のもと、個別支援から地域支援につながるネットワークの構築、アプローチが意識され、地域の福祉拠点の名にふさわしい役割を果たされています。エリア内の福祉施設と連携したサロン開催(場の提供)の実現は、地域の中の社会資源活用・施設連携の好事例になっています。
 包括レベル地域会議では、民生委員と地域の支援者との顔の見える関係作りに繋がりました。会議で出た意見や提案等が今後の地域支援や個別支援に反映されることを期待します。
 また、新ケアプラザ開所に伴う包括圏域の変更に向けて、地域の方の不利益がないよう、早々から地域及び関係機関への丁寧な引継ぎ等行っていただきました。次年度も引き続き地域に寄り添った取組・事業展開をよろしく願いいたします。